

令和2年5月8日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

一般財団法人  
北海道国際交流センター

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

**企画名:** 【北海道キャラバン】帯広・新得・美唄・旭川でNGO相談広報(7/27-28)  
**企画実施概要:** 広い北海道を効率よく、かつ効果的に出張サービスする北海道キャラバンを実施した。出張サービスの2か所は北海道教育委員会への働きかけによって、依頼があり実現した。また、国際協力に関心のある新得町の福祉施設や、美唄の文化施設への広報も行い、それぞれの町、あるいは周辺市町村への広報活動につなげることができた。

#### 2 出張者氏名

池田 誠

#### 3 依頼元／主催団体名

幕別町立古舞小学校

#### 4 実施予定日時

2020年7月27日(月) 11:00-12:00

#### 5 実施場所

幕別町立古舞小学校

#### 6 実施報告

北海道 中川郡幕別町字古舞694. TEL.0155-57-2672  
「外国と日本の関りについて」小学校5、6年および、教員に対して、世界を感じてもらえるために、海外情報の提供を行い、幅広い視野を持ってもらうことを目的として実施した。  
①事前に国調べの学習をしてもらい、その上で、国の現状や特徴を相談員が解説した。

②自分たちの身の回りから知ることができる商品のルーツや、原材料が何なのかを考えることで、身の回りから国際協力を感じるワークショップを実施した。

#### 2 出張者氏名

池田 誠

#### 3 依頼元／主催団体名

旭川市立西御料地小学校

#### 4 実施予定日時

2020年7月28日(火) 10:00~11:00

#### 5 実施場所

旭川市立西御料地小学校(旭川市西御料1条2丁目)

#### 6 実施報告

TEL:0166-65-0157  
小学校5年生および教育の80名に対して、SDGsの17項目から、国際情勢を考える講座を行った。

①世界のいろいろな問題について自分たちにできることはないかという新たな課題意識を持てるように講義を行った。

②SDGsについて事前に調べてもらい、実際に他の学校や地域で行われているSDGsの事例と比較してゆきながら、これからの行動を考えられるように後押しした。

#### 7 写真



古舞小学校での講義の様子

(写真1)



西御料地小学校での講義の様子

(写真2)

以上

令和2年8月5日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
関西NGO協議会

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

- 企画名:** 立命館宇治高校3年生を対象としたSDGsワークショップ
- 企画実施概要:** アフリカの紛争鉱物資源やファーストファッションのサプライチェーンの問題から、私たちの生活と引き付け、グローバルな課題の解決やSDGsの達成のためにできる子と考えるワークショップを実施。また、昨年末に改定された日本のSDGs実施指針やSDGsアクションプランについても紹介し、政府と市民社会(NGO/NPO)双方による取り組みの必要性について学習し理解を深めた。高校2年生、高校3年生のクラスをオンラインでつなぎ同時並行で開催し、生徒は積極的にワークショップに参加し、多くの質問も寄せられた。延べ140名の生徒が受講した。

**2 出張者氏名** 高橋美和子

**3 依頼元/主催団体名** 立命館宇治高等学校


**4 実施予定日時** 令和2年7月16日 (木) 13:00~15:40

**5 実施場所** zoomによるオンライン開催

**6 実施報告**

- ・スマートフォンもファーストファッションも生活に欠かせないものとなっているが、背景にある課題について初めて知った。構造的な問題でもあり、私たち消費者とも深くかかわるグローバルな課題だと思った。(高校3年生)
- ・日本がSDGs実施指針を策定していることは知らなかった。SDGs17のゴールに横断的に関わり、かつ、解決すべき優先的課題がジェンダー問題であることは大切である。貧困もジェンダーの問題と深くかかわっていることが分かった。(高校2年生)
- ・ワークショップやその後の発表を通じて、生徒が積極的に発言する機会が持てたことが良かった。(教員)

#### 7 写真

|   |  |
|---|--|
|  |  |
| オンラインで講義をするNGO相談員   | SDGsワークショップをオンラインで行い、グループ発表する生徒の様子   |

(写真1)

(写真2)

以上

令和2年8月10日

外務省国際協力局民間援助連携室

団体名

特定非営利活動法人  
ピースウインズ・ジャパン

## NGO相談員による出張サービス実施報告

NGO相談員による出張サービスを下記のとおり実施しましたので、下記のとおりご報告します。

### 記

#### 1 企画名および企画概要

企画名： 広島文化学園大学における講義

企画実施概要： ①実施内容  
広島文化学園大学において、国際協力、難民支援等の実情と課題について講義を行った。

②対象者および参加人数  
大学共通科目(教養科目)「日本国際社会」の授業時間において文芸学部子ども学科及び音楽学科の3年次生、10名。

#### 2 出張者氏名

角免 昌俊

#### 3 依頼元／主催団体名

広島文化学園大学 文芸学部 里村生英(非常勤講師)

#### 4 実施予定日時

令和2年7月17日(金)9:05～10:35

#### 5 実施場所

広島文化学園大学(住所:広島県広島市安佐南区長東西3-5-1)  
国際問題などを学ぶ講座を受講する学生にたいして、難民支援とNGOの仕事というテーマに講演を行った。当会の活動紹介を通して、緊急支援での国際NGOの活動や難民が直面している課題を説明した。NGOや国連の活動には、スフィアスタンダードなど基準があることを紹介し、国連や現地政府との連携や参加型の支援方法について説明しました。  
以下、学生のコメントを抜粋です。

#### 6 実施報告

・講演を受けて、世界の難民の事情について知ることが出来ました。また、講演後には、自分で難民について調べてみました。私たちが住んでいる日本の難民認定率はたったの0.2%(2020年7月現在)で、これは世界でも最低水準となっています。なぜ日本は難民認定率が低く難民に対して厳格なのかと言うと、1つは、就労目的による難民認定申請を防止するため。もう1つは「難民」の定義が狭いため。ということが分かりました。今後は日本が難民に対し理解を深め議論する必要があると思いました。

・いまだに、中東では紛争が起こっており、その理由として、宗教問題、水や食料の不足、土地、資源の独占、不平等など様々な問題があることを知ることができました。

#### 7 写真



講義の様子

(写真1)



講義の様子

(写真2)

以上